

行政機関も災害時の情報発信に使うなど、社会インフラにもなっている交流サイト(SNS)のツイッター。日本の政治家や政党も日々の活動や主張の投稿、選挙時の集会開催の告知など重要ツールとして活用するが、米実業家イーロン・マスク氏の買収以降混乱が続いており、議員らも状況を注視している。

マスク氏は昨年10月の買収後改革に着手したが、投稿の規制緩和で差別的なものが急増し問題視された他、従業員の大規模解雇、システム不安定化など混乱が続く。

「参議院は選挙区が広く地域と触れ合うのが難しい。ツイッターを通じて個人の考えやキャラクターを見てもらえる」と話すのは立憲民主党の塩村文夏参院議員。批判的な投稿も寄せられるが、意見対立が分断を深めぬよう丁寧な返答に努める。

混乱については「無料でも使えるものに完璧を求めるのは難しい」と指摘。米

## 類似サービス活用模索も

IT大手メタの「スレックス」など類似サービス活用も模索する。

自民党の長島昭久衆院議員は安全保障などに関する発信や情報収集に活用。自分と異なる意見にも触れるよう意識している。ウクライナ侵攻の専門的な分析などもあり、学びになる」と評価している。買収後にフォローの伸びは鈍化した。「適度な長さで読み書きできるのが利点。利用者が激減すれば他への移行も考えるが、使うSNSが多くなるに対応しきれなくなる」と話す。SNSを通じた発信で支

# ツイッターの混乱

# 議員らも状況注視

政党党首らのフォロワー数

岸田文雄氏 (自民党)	約72万1000
泉健太氏 (立憲民主党)	約3万9000
馬場伸幸氏 (日本維新の会)	約4万2000
山口那津男氏 (公明党)	約5万7000
志位和夫氏 (共産党)	約22万7000
松田学氏 (参政党)	約7万3000
長島昭久氏	約7万4000
塩村文夏氏	約4万9000

※百の位を四捨五入、7月15日現在

持拡大につなげる政党もある。昨年の参院選で1議席を獲得した参政党は今年12日、JR新橋駅前街頭演説を実施。訪れた都内の女性(22)はツイッターで「新橋演説を模索して知った。情報収集に使っており、利用できなくなるのは困る」。参政党は「拡散力が強いメディアなので効果的に使っていきたい」との立場。「全く使えなくなった場合、拡散力が不足するようであれば別のツールを使うなど対応を考えたい」とした。

### クリック

ツイッター 交流サイト(SNS)の一つで、利用者はパソコンやスマートフォンから文章や写真、動画を投稿する。他のユーザーはそれに返信したりリツイート(転載)したりできる。米電気自動車大手テスラ最高経営責任者(CEO)のイーロン・マスク氏が買収後、サービスや規約の変更をたびたび表明。利用者に困惑が広がっている。今月提供が始まった「IT大手メタのSNS「スレックス」はよく似た投稿や返信の機能を持つ。